

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成21年2月26日 午後7時00分から午後9時00分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 2階会議室
- 4 出席者 井出守雄委員、伊藤隆子委員、上野正司委員、柿島祐子委員、木下文雄委員、木下幸光委員、清住章雄委員、小山洋江委員、桜井敏昭委員、佐藤栄作委員、城下ゆかり委員、高田忍委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、増子カオリ委員、松井幸夫委員、松代典之、依田せつ子委員(欠席2名)
- 5 市側出席者 宮下センター長、広川地域振興課長、近藤産業観光課長、桜井建設課長、伊藤健康福祉課長、児玉教育事務所長、児玉地域政策係長、掛川主事
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 21年3月11日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課

## 協議事項等

- 1 開会(広川課長)  
自治会推薦委員変更に伴い、自己紹介(木下文雄委員、木下幸光委員)
- 2 会長あいさつ(桜井会長)
- 3 センター長あいさつ(宮下センター長)
- 4 協議事項
- ・平成21年度わがまち魅力アップ応援事業プレゼンテーション選考について  
プレゼンテーション選考について説明(事務局)
- 個性あるふるさとづくり応援事業に5自治会、特色あるまちづくり応援事業に2団体から応募があり、本日は、そのうちの新規事業である4自治会と1団体の選考を行う。
- 1団体プレゼンテーション時間は15分間を予定。申請者が事業説明を5分程度行い、その後質疑応答を10分程度行う。委員は、審査調書の項目に沿って事業を評価し、点数を記入する。採点基準は、それぞれの審査項目を5~1点の5段階で採点していただく。25点満点の採点で、平均10点を基準とする。また、応募のあった事業に委員が関与するものがある場合は、選考を辞退していただく。
- プレゼンテーションでは、地域にとってその事業の必要性や、より良い事業になるように助言や提言を考えていただきたい。
- 事務的な流れとして、地域協議会で選考を行った後、地域協議会としての選考結果を意見書として市へ提出し、最終的に市長が補助金交付の採否を決定することになる。
- 「個性あるふるさとづくり応援事業」プレゼンテーション選考  
ほたる復活と水生生物観察エリアの自然景観整備【藪合自治会】  
地元小中学生と連携し、ほたる水路、水生生物の観察ができる水路を整備し、武石川水系の自然景観を高め、環境保全地区を形成したい。
- 【質疑・意見】
- (委員) ほたるの発生をぜひ成功させてもらって、他の地域へも広げてもらいたい。
- (委員) 武石のきれいな水は、次世代へ残していかなければいけない財産である。ぜひ頑張ってもらいたい。以前は活性化組合が中心となっていたようだが、自治会との関係はどうなっているか。
- (選考団体) 1月の自治会の総会で、自治会員に周知し合意をいただいている。
- (委員) 今までのほたるの発生状況はどうか。

(選考団体)指導されたとおりに行っているが、自然のことであるため、まだ発生に至っていないのが現状である。

(委員)水路周辺の整備、草刈りが予定されているが、重機や草刈機の借上料は計上しなくてもよいのか。

(選考団体)重機を使う作業は、それほど残っていない。

#### 鳥屋城をはじめとする歴史遺産巡りふれあいの里【鳥屋自治会】

鳥屋城のほか戦国時代から残る史跡巡りの実施や歴史の伝承により、地域への愛着や一体感の醸成を図りたい。

##### 【質疑・意見】

(委員)会議資料をもらってから、実際現場に行ってみたが景観のよいところだった。具体的にどこまで広げる計画なのか。

(選考団体)鳥屋公民館から600mほどは道路が舗装されている。そこから頂上までの3分の2程は原木を運び出す道があるので、それを利用して同じ道路幅で遊歩道を整備し、残る3分の1は車が通れる幅で整備したいと考えている。ただし、危険な箇所もあるので、ロープ等を張って安全対策を心がけたい。

(委員)整備する遊歩道の総延長、また歩いた場合の時間はどのくらいか。

(選考団体)遊歩道は800mほどである。鳥屋公民館から鳥屋城までは、歩いて30分ほどである。

(委員)城跡がけっこう残っているので、ぜひ皆さんに見てもらいたい場所だと思うが、子どもたちには危険だと思われる箇所もあり、安全対策をしっかりとってもらいたい。また、丸子側との交渉はすでに済んでいるのか。

(選考団体)丸子の地権者の皆さんに話はしてあるが、交渉はこれからである。

(委員)看板設置が4年目、マップ作成が5年目に計画されているが、多くの人に訪れてもらえるようにもう少し早めをお願いしたい。

#### もみじ橋の周辺整備事業【大布施巣栗自治会】

秋のもみじがきれいな大布施橋周辺の自然景観を整備し、地域づくりと地域の活性化を図りたい。

##### 【質疑・意見】

#### すぐりの里造り事業【西武自治会】

地域の名前に由来したすぐりを始め山菜を栽培することで遊休荒廃地を解消し、“チロリンの森”のきのこなどと併せ、四季を通じて収穫体験ができる場所を造り、都市との交流をすすめたい。

##### 【質疑・意見】

(委員)現在、すぐり畑はどのくらいあるのか。

(選考団体)4反歩程度あるが、それを移植したいと考えている。

(委員)武石の特産品にもつながると思うので、ぜひ頑張ってもらいたい。

#### 「特色あるまちづくり応援事業」プレゼンテーション選考

#### 武石「ご当地丼」をみんなで開発するプロジェクト【武石特産品検討委員会】

武石ならではの食材を活かした「ご当地丼」を公募し、選考イベントを開催して、武石の特産品として宣伝していきたい。

##### 【質疑・意見】

(委員)もし、ご当地丼ができた場合、どこで提供していくのか。

(選考団体)レシピを作成し、各家庭ではもちろん飲食店にも協力してもらい、提供していきたい。

(委員)インターネットの冷凍販売等も考えてもらいたい。

(委員)かつての特産品であったマルタケトマトは22年間続いた。長く続き、後世に残るものを考えてもらいたい。

(委員) 武石の特産品を募集し、26品目ほど応募があったとのことだが、丼の食材はそれらに限定するのか。

(選考団体) ご当地丼は、武石産の食材を使ってものであれば、何を使ってもけっこうである。

～ 審査結果の集計 ～

2年目となる事業の概要

(事務局) - プレゼンテーションを行わない2年目以降の事業の概要について説明 -

「個性あるふるさとづくり応援事業」

一里花桃の里、余里自治会整備事業【余里自治会】

花桃の開花する4月下旬から5月上旬に開花イベント(シャトルバス運行、仮設トイレ・休憩所・案内看板・駐車場・売店の設置)を実施。年間を通して植栽周辺の下草刈り、除草作業を実施する。

「特色あるまちづくり応援事業」

ヒカリ苔輝く美ヶ原焼山沢登山道整備事業【武石山岳会】

美ヶ原焼山沢登山道下山ルート案内板の設置、登山道の補修整備を行い、登山者の安全確保、美ヶ原の貴重な植生を保護する。

4 選考審議

(事務局) - 審査調書集計結果の報告 -

(会長) それぞれの事業はすべて平均点以上であった。全事業を採択することについて異議はあるか。

- 採択することに全員賛成 -

(事務局) 選考結果をまとめたものについては、次回協議会でお知らせする。選考結果は、武石地域協議会の意見として市長宛に提出する。

6 その他(事務局)

・地域協議会委員による研修会について 3月22日(日)信州国際音楽村にて 講師による講演会  
予定

6 閉会(小山副会長)